

現代社会

第3問 問1 「14」

アメリカの政治制度の知識と文章の読解を求める問題で、各学力層で差がついた

問1 ササキさんは模擬授業で話をきいたアメリカの大統領制についてさらに知りたいと思い、家の近くの書店でアメリカの政治に関する本を購入した。特に印象深かったのは、新大統領が就任式に臨んだときの演説であった。次の文章はササキさんがまとめたノートの一部である。□ア～□ウに入る語句の組合せとして最も適当なものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。□14

アメリカ大統領は、米軍の最高司令官であるなど強大な権限と権威をあわせ持っている。連邦議会との関係では、大統領は議会に対して□アを有しており、また議会が可決した法案に対して拒否権を発動することができる。大統領は大使や公使および領事を任命するが、その任命への同意権は□イにある。

アメリカ大統領は長期間の選挙戦を経て、選出される。4年に一度11月に全国の有権者による一般投票で大統領選挙人が選出され、その後大統領選挙人による投票が行われる。翌年の1月、選ばれた大統領が就任式に臨む。

2001年、ブッシュ（子）は就任演説において次のように述べた。

「歴史上、権力が平和裏に移譲されることは稀であります。わが国では普通のことです」

2009年には、オバマは次のように語った。

「今日から、立ち上がり、埃を払い、アメリカを再生する作業を始めましょう」

このように、特に1期目の就任演説において、アメリカの再生や変革、政権の平和的移譲が強調される。そして、新大統領の就任は行政府内の大きな変化を伴う。近年、アメリカの大統領は、総数3500人ほどの高官を任命するという。その結果、大統領の考えや政策が行政府のなかに浸透しやすく、任命される側も大統領に対する忠誠心を強く持つことになる。このように、アメリカの官僚制のしくみは日本と異なっており、日本の官僚制に比べると、アメリカの官僚制は前政権の政策を転換することについて□ウを持っていると考えられる。

- | | | | | | | |
|---|---|-------|---|----|---|--------|
| ① | ア | 法案提出権 | イ | 下院 | ウ | 積極的な傾向 |
| ② | ア | 法案提出権 | イ | 下院 | ウ | 消極的な傾向 |
| ③ | ア | 法案提出権 | イ | 上院 | ウ | 積極的な傾向 |
| ④ | ア | 法案提出権 | イ | 上院 | ウ | 消極的な傾向 |
| ⑤ | ア | 教書送付権 | イ | 下院 | ウ | 積極的な傾向 |
| ⑥ | ア | 教書送付権 | イ | 下院 | ウ | 消極的な傾向 |
| ⑦ | ア | 教書送付権 | イ | 上院 | ウ | 積極的な傾向 |
| ⑧ | ア | 教書送付権 | イ | 上院 | ウ | 消極的な傾向 |

第3問 問1 「14」

正解率	17.5%
SS70～75	46.1%
SS65～70	37.0%
SS60～65	29.0%
SS55～60	23.8%
SS50～55	18.2%
SS45～50	13.0%

2022年度第3回ベネッセ・駿台
大学入学共通テスト模試
「現代社会」

受験者数:	39,468人
平均点:	47.1点
標準偏差:	14.8

現代社会

第3問 問1 「14」

アメリカの政治制度の知識と文章の読解を求める問題で、各学力層で差がついた

結果分析

第3問の問1は、アメリカの大統領（行政）や議会（立法）の持つ権限に関する正確な知識と、日本と比較したアメリカの官僚制の傾向について文章をもとに考察する問題で、各学力層で差がつかしました。

アメリカの大統領は法案提出権がない代わりに教書送付権と法案の拒否権を有しており、上級官吏の任命同意権は連邦議会の上院が有していることについて正確な知識が求められました。さらに、アメリカ大統領の就任にともない政府の高官も大きく変化するなど、前政権の政策から積極的に転換する傾向にあることを文章から読み取ることができているかが問われました。

指導のご提案

現代社会の共通テストでは、各分野についての正確な知識が身につけていることが高得点をめざすうえで重要です。実践的な問題演習を重ねるなかで、正解率が低い分野があれば、その分野に関する既習事項を改めて整理しなおし、苦手分野をなくすように準備しておくことが大切です。

さらに、共通テストでは、文章や図、グラフ、表などの資料を短時間で読解することも重要です。本問のように既習の知識のみでは解答できないこともあるので、限られた時間のなかで解答に必要な情報を資料から見つけ出し、根拠を持って正解を判断する練習を重ねることをご提案します。